

## VI 環境を考える

### 1 環境学習・環境啓発

現在の環境問題は、生産や流通などの活動が原因とされる産業型公害に加え、地球温暖化などに見られるように市民の日常生活も原因となっています。したがって、私たち一人ひとりが環境に対する理解を深め、生活の中で取り組んでいくことが重要となります。市では、環境学習講座を修了された方々と意見交換を行いながら、環境学習講座を実施しています。

#### (1) 環境学習

##### ア 府中かんきょう塾2013

平成13年にエコ・リーダー養成講座としてスタートしました。現在では府中かんきょう塾として、講座修了生による企画・運営が進められています。平成25年度は全6回の連続講座のほか、親子体験教室も4回実施しました。講座参加者数:延べ207人

#### 全6回の連続講座

回	日 時 参加人数	講座名	内 容	講 師	会場等
1	5月11日(土) 13:00～17:00 16人	開講式、 環境講座	開講式 府中の環境について、 講話「環境の変化と 感染症について」	元JICA経済協力調 整アドバイザー 表伸一郎氏	府中駅北第2庁 舎3階会議室
2	6月15日(土) 14:00～17:30 19人	大 気 汚 染 に ついて	酸性雨調査説明会 講話「府中の大気は 大丈夫？」	市民酸性雨調査の 会 東京農工大学教授 伊豆田猛氏	東京農工大学 府中キャンパ ス5号館5 - 11号室
3	9月7日(土) 13:00～17:00 16人	日本のエネルギーについて	講話「地球温暖化 とエネルギー問題」 エコ・ロールプレ イ	NPO法人環境文明2 1 共同代表 藤村コノ エ氏	府中駅北第2庁 舎3階会議室
4	10月24日(木) 8:30～16:30 15人	施設見学会	清水建設技術研究 所 芝浦水再生センタ ー の見学	清水建設社員 東京都水道局職員	清水建設技術 研究所 芝浦水再生セン ター
5	11月16日(土) 13:00～17:00 16人	食と農と環境 について	講座「食・農・環 境と消費者の関わ り～今私たちにで きること～」	東京農業大学准教 授 上岡美保氏	府中駅北第2庁 舎3階会議室
6	12月14日(土) 13:00～17:00 14人	修了式、発表 会	修了式 自主グループによる 活動成果の発表	-	府中駅北第2庁 舎3階会議室

## 親子体験教室

回	日 時 参加人数	講座名	内 容	講 師	会場等
1	9月28日(土) 9:15～11:30 14人	府中産の野菜でエコクッキング! 第1回講座	種まき体験 キャベツの苗の植付け	環境保全活動センターサポーター 比留間吉郎氏	押立町5丁目の農地
2	10月19日(土) 9:15～10:30 29人	府中産の野菜でエコクッキング! 第2回講座	大根、白菜、キャベツの間引き	環境保全活動センターサポーター 比留間吉郎氏	押立町5丁目の農地
3	12月7日(土) 9:15～10:30 35人	府中産の野菜でエコクッキング! 第3回講座	大根、白菜の収穫	環境保全活動センターサポーター 比留間吉郎氏	押立町5丁目の農地
4	1月25日(土) 9:15～14:30 33人	府中産の野菜でエコクッキング! 第4回講座	大根、白菜の収穫 収穫 すいとん汁、白菜ナムルの調理	環境保全活動センターサポーター 比留間吉郎氏 佐川タマ江氏	押立町5丁目の農地 JAマインズ多磨支店

## (2) 環境調査・市民調査

### ア 市民による酸性雨調査

平成2年度から、市民の方々の協力により、酸性雨の簡易測定を実施しています。測定結果だけでなく、独自の実験や研究結果なども寄せられています。酸性雨の測定を通して、大気汚染さらには地球環境問題を身近で考える場とするとともに、データを記録し、自動測定機では得られない市内全体の状況を把握しています。

日 時	テーマ (学習方法)	内 容	会場等
6月15日(土) 14:00～15:00	酸性雨調査説明会(府中かんきょう塾2013第2回講座内で実施)	雨の採取、pH及び降水量の測定方法の説明 器具の貸出し	東京農工大学 府中キャンパス5号館5-11号室
8月～9月	酸性雨調査期間	雨を採取しpHと降水量を測定	参加者自宅等

調査参加者数: 17人

## イ 市民ボランティア調査

市民の方々の協力により環境調査を実施することで、より多くの方が環境に興味を持つきっかけづくりの場を提供し、さらにはフィールドワークを通して市民ボランティアを育成しています。また、得られたデータは、市の環境施策に活用するための基礎データとして、記録しています。この調査は、地域の環境に根ざした環境調査プログラムとして、市内で環境活動を行っている「特定非営利活動法人 府中かんきょう市民の会」に委託して実施しています。

### (ア) 西府町湧水調査

調査期間：平成25年4月～平成26年3月(通年)

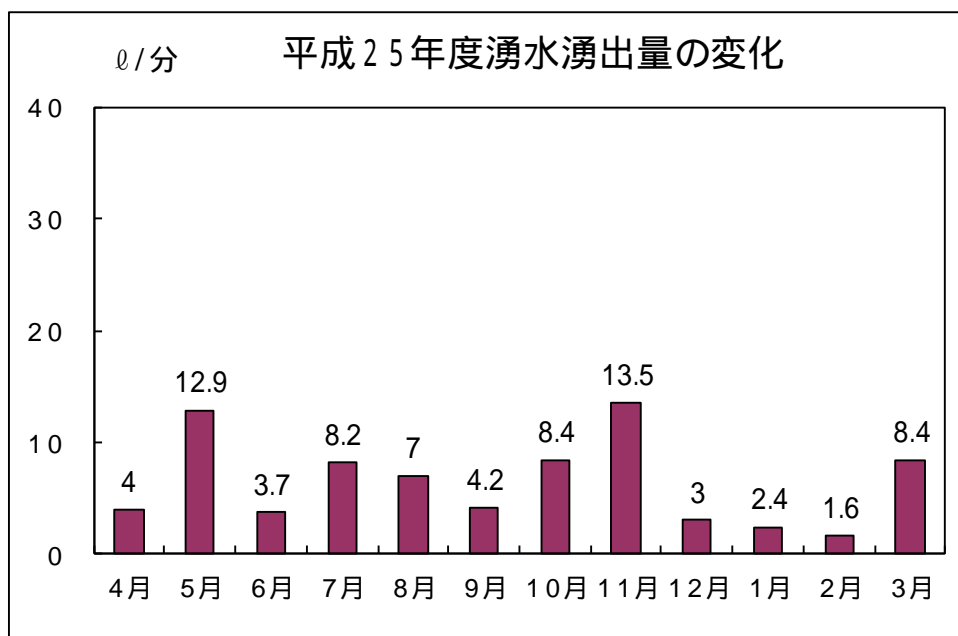
調査場所：西府町湧水

参加人数：延べ 26名

調査内容：湧水量、水質の通年データ測定調査

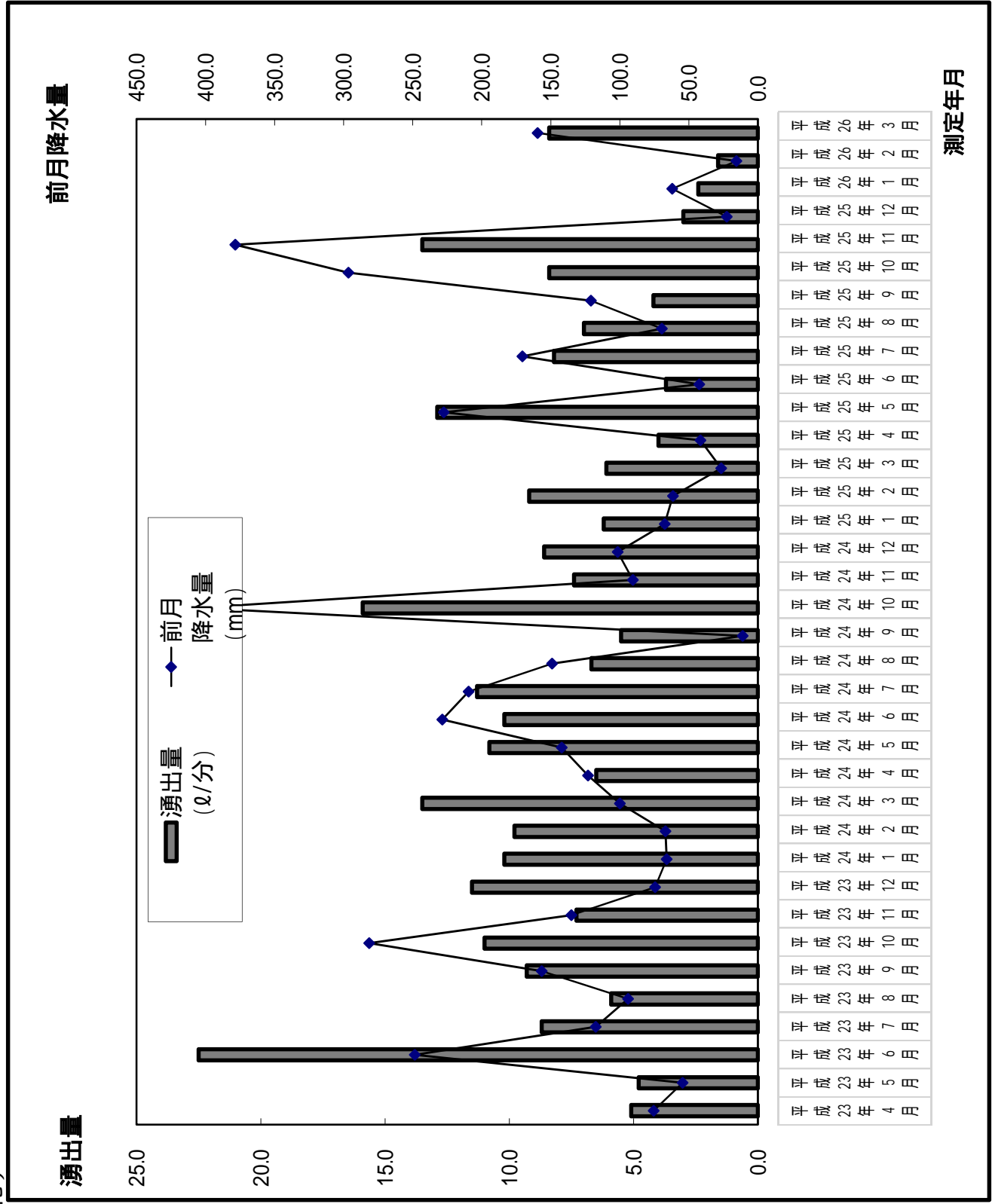
#### 調査結果

測定日	湧出量 (ℓ/分)
4月1日	4.0
5月1日	12.9
6月3日	3.7
7月1日	8.2
8月1日	7.0
9月1日	4.2
10月1日	8.4
11月2日	13.5
12月1日	3.0
1月1日	2.4
2月1日	1.6
3月3日	8.4



湧出量と前月降水量（経年変化）

測定年月	湧出量 (ℓ/分)	前月 降水量 (mm)
平成23年4月	5.1	75.5
平成23年5月	4.8	54.5
平成23年6月	22.5	248.5
平成23年7月	8.7	117.5
平成23年8月	5.9	94.0
平成23年9月	9.3	156.5
平成23年10月	11.0	281.5
平成23年11月	7.3	135.0
平成23年12月	11.5	74.5
平成24年1月	10.2	66.0
平成24年2月	9.8	67.0
平成24年3月	13.5	100.0
平成24年4月	6.5	123.0
平成24年5月	10.8	142.0
平成24年6月	10.2	228.5
平成24年7月	11.3	209.5
平成24年8月	6.7	149.0
平成24年9月	5.5	11.0
平成24年10月	15.9	406.5
平成24年11月	7.4	90.5
平成24年12月	8.6	101.5
平成25年1月	6.2	67.5
平成25年2月	9.2	61.5
平成25年3月	6.1	26.5
平成25年4月	4.0	41.5
平成25年5月	12.9	227.5
平成25年6月	3.7	42.5
平成25年7月	8.2	170.5
平成25年8月	7.0	69.5
平成25年9月	4.2	121.0
平成25年10月	8.4	296.5
平成25年11月	13.5	378.5
平成25年12月	3.0	22.5
平成26年1月	2.4	62.0
平成26年2月	1.6	15.5
平成26年3月	8.4	159.5

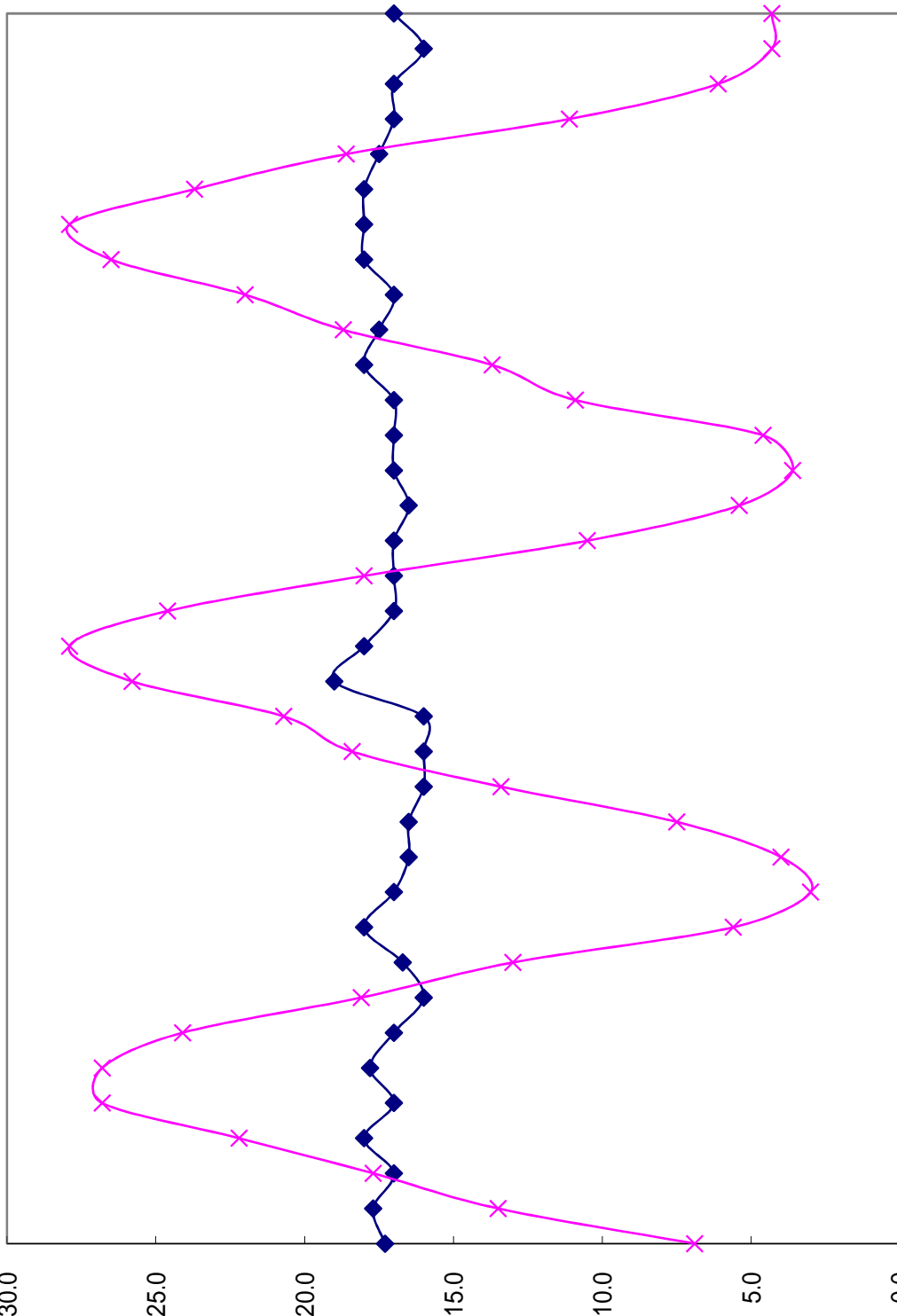


測定年月

平成23年4月
平成23年5月
平成23年6月
平成23年7月
平成23年8月
平成23年9月
平成23年10月
平成23年11月
平成23年12月
平成24年1月
平成24年2月
平成24年3月
平成24年4月
平成24年5月
平成24年6月
平成24年7月
平成24年8月
平成24年9月
平成24年10月
平成24年11月
平成24年12月
平成25年1月
平成25年2月
平成25年3月
平成25年4月
平成25年5月
平成25年6月
平成25年7月
平成25年8月
平成25年9月
平成25年10月
平成25年11月
平成25年12月
平成26年1月
平成26年2月
平成26年3月

湧水温度と前月平均気温(経年変化)

計測年月	湧水温度 ( )	前月平均 気温( )
平成23年4月	17.3	6.9
平成23年5月	17.7	13.5
平成23年6月	17.0	17.7
平成23年7月	18.0	22.2
平成23年8月	17.0	26.8
平成23年9月	17.8	26.8
平成23年10月	17.0	24.1
平成23年11月	16.0	18.1
平成23年12月	16.7	13.0
平成24年1月	18.0	5.6
平成24年2月	17.0	3.0
平成24年3月	16.5	4.0
平成24年4月	16.5	7.5
平成24年5月	16.0	13.4
平成24年6月	16.0	18.4
平成24年7月	16.0	20.7
平成24年8月	19.0	25.8
平成24年9月	18.0	27.9
平成24年10月	17.0	24.6
平成24年11月	17.0	18.0
平成24年12月	17.0	10.5
平成25年1月	16.5	5.4
平成25年2月	17.0	3.6
平成25年3月	17.0	4.6
平成25年4月	17.0	10.9
平成25年5月	18.0	13.7
平成25年6月	17.5	18.7
平成25年7月	17.0	22.0
平成25年8月	18.0	26.5
平成25年9月	18.0	27.9
平成25年10月	18.0	23.7
平成25年11月	17.5	18.6
平成25年12月	17.0	11.1
平成26年1月	17.0	6.1
平成26年2月	16.0	4.3
平成26年3月	17.0	4.3



平成23年4月
平成23年5月
平成23年6月
平成23年7月
平成23年8月
平成23年9月
平成23年10月
平成23年11月
平成23年12月
平成24年1月
平成24年2月
平成24年3月
平成24年4月
平成24年5月
平成24年6月
平成24年7月
平成24年8月
平成24年9月
平成24年10月
平成24年11月
平成24年12月
平成25年1月
平成25年2月
平成25年3月
平成25年4月
平成25年5月
平成25年6月
平成25年7月
平成25年8月
平成25年9月
平成25年10月
平成25年11月
平成25年12月
平成26年1月
平成26年2月
平成26年3月

計測年月

**(イ) 多摩川の野鳥観察・調査**

調査結果は86ページ

調査期間:平成25年4月～平成26年3月(公開講座2月2日)

調査場所:多摩川大丸堰、いこいの森、郷土の森ほか

参加人数:延べ157名

調査内容:多摩川と郷土の森周辺の調査、野鳥観察会の開催

**(ウ) 植物観察・調査(多摩川河川敷)**

調査結果は87ページ～91ページ

調査期間:平成25年4月～平成26年3月(公開講座5月19日)

調査場所:多摩川河川敷(大丸堰から関戸橋まで)

参加人数:延べ153名

調査内容:多摩川河川敷に自生する植物の観察会の開催と調査

**(エ) 小川の生き物調査**

調査結果は92ページ

調査日時:平成25年7月23日

調査場所:本宿用水路(四谷2丁目)

参加人数:7名

調査内容:小川の生き物の生息状況の観察会の開催と調査

●野鳥観察調査結果(観察野鳥リスト)

※毎月1回 午前9時～正午頃まで観察

<調査場所>郷土の森正門前～いこいの森～修景池～郷土の森公園～庭球場横～大丸堰周辺～ニセアカシア疎林～読売新聞社前

調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査日	4日	7日	7日	2日	2日	2日	7日	8日	4日	17日	6日	3日	
天候	晴	晴	曇	晴	曇	晴	曇	晴	晴	晴	晴/曇	曇	
参加者数	12人	16人	8人	10人	12人	11人	14人	8人	13人	9人	12人	8人	133人

野鳥の名前	確認数 (羽)												
カイツブリ	3	4	1			1	2	1	4	3	3	1	23
カワウ	1	6	4	2	3	5	2	5	14	27	9	5	83
ダイサギ				3	2	11	5	3	3	5	4	1	37
チュウサギ													
コサギ		11	2	4	30	18						2	67
アオサギ	3	2	2	5	8	4	10		6	3	3		46
マガモ								6	15	19	24	4	68
カルガモ	9	4	7	4	20	6	37	41	51	76	61	59	375
コガモ									2			5	7
ヒドリガモ									3			3	6
ハシビロガモ													
キンクロハジロ													
カワアイサ													
トビ	1	2		2		2		3	1	2	1	2	16
ハイタカ												1	1
オオタカ									1	1	1		3
ノスリ									1	1		1	3
ハヤブサ	1												1
チョウゲンボウ													
キジ	3												3
バン													
オオバン		2						5	13	12	3		35
ヒメアマツバメ	3						2					6	11
コチドリ				2						2			4
イカルチドリ	1					2					4		7
キアシシギ		2											2
イソシギ					2	2			1	1	1		7
セグロカモメ	2										1		3
コアジサシ													
キジバト	1					2	2	2	4	2	3	6	22
カワセミ							5	2	1	2	1	1	12
アオゲラ													
コゲラ							1			3		1	5
ヒバリ	3	3	11	1				3			2	2	25
ツバメ		8	9	6	24	19							66
コシアカツバメ						2							2
イワツバメ		2				3							5
キセキレイ							1				1		2
ハクセキレイ	15	5	6	6	4	4	5	8	9	6	8	7	83
セグロセキレイ		3	4		1	3	4	4	6	10	3	3	41
タヒバリ										2	5	4	11
ヒヨドリ	24		4	2	2	1	96	8	11	9	6	2	165
モズ						1	6	2	3	2		2	16
ジョウビタキ										2		1	3
ノビタキ							3						3
ツグミ	6		2	1					1	2	10	14	36
ウグイス	2				1					1	1		5
オオヨシキリ		2	7	4									13
セッカ	3	8	12	12	14	11	3	1			1		65
シジュウカラ	8	2	2	6	1	4	2	1	6	9	13	16	70
メジロ	2						3		2	1	4	2	14
ホオジロ	4	2	4	4	1		4	5	5	4	4	4	41
カシラダカ										1	3		4
アオジ	5							3		3	4	2	17
オオジュリン								2					2
カワラヒワ	17	4	3	4	2	2	3	12	4	16	5	24	96
ベニマシコ										1			1
シメ												1	1
スズメ	3	7	13	9	11	9	9	29	5	26	155	191	467
ムクドリ	12	12	8	45	10					6	34	76	203
オナガ			1				17						18
ハシボソガラス	8	3	4	2	2	1	19	1	1	3		3	47
ハシブトガラス	9	4	6	2	9	2		2	2	2	2	2	42
確認総羽数	149	98	112	126	147	115	241	151	175	264	379	454	2,411
確認種類数	26	22	21	21	19	23	23	25	27	33	31	33	55
外来種													
ドバト	10	2	9		1	10	12	15	18	24	26	13	140
家禽アヒル													
コジュケイ													
確認総羽数	10	2	9	0	1	10	12	15	18	24	26	13	140
確認種類数	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1

●多摩川植物調査結果(植物開花調査リスト)

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
トクサ科	イヌドクサ					※								※孢子茎を確認
	スギナ													
クルミ科	オニグルミ	○	*	*	*	*	*	*	*	*				
	ヒメグルミ		*	*	*	*	*	*	*					
ヤナギ科	コゴメヤナギ	○	*											都・絶滅危惧Ⅱ類
	タチヤナギ	○	*											
	イヌコリヤナギ													
	アカメヤナギ		*	*	*									
	ジャヤナギ	○	*											都・絶滅危惧Ⅱ類
ニレ科	アキノレ						*	*	*	*	*	*	*	
	エノキ	○	*	*	*	*	*		*	*	*			
	ムクノキ			*	*		*	*	*	*				
クワ科	カナムグラ						*	○	○	*	*	*	*	
	ヤマグワ	○	*	*										
	マグワ		*											
イラクサ科	カラムシ						○		*					
ビャクダン科	カナビキソウ	○		○										
タデ科	ナガバギシギシ☆	○	*	*	○	*	*	*		*		*		
	スイバ	○												
	ヒメスイバ☆													
	オオイヌタデ					○	○	○	*	*	*			
	アレチギシギシ☆			*		*								
	イタドリ						○	○	*	*	*	*	*	
	ミゾソバ							○	○					
	イヌタデ							○	○					
	ヤナギタデ							○	○					
	ギシギシ	○			*	*			*	*	*			
	ミチヤナギ							○						
	イシミカワ													
	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ☆					○							
ザクロソウ科	ザクロソウ☆													
スベリヒユ科	スベリヒユ						○							
ナデシコ科	カワラナデシコ					○	*							都・絶滅危惧Ⅱ類
	オランダミミナグサ☆	○	○											
	ノミノツツリ	○	○											
	ウシハコベ		○	○	○			○	○	○				
	コハコベ☆	○											○	
	ムシトリナデシコ☆													
	ミミナグサ		○	○										
	ノハラナデシコ☆													
アカザ科	シロザ													
	ケアリタソウ☆							○	*	*	*	*		
	コアカザ☆									*				
ヒユ科	ヒナタイノコズチ						○	*	*	*				
	ホナガイヌビユ☆													
	ホソアオゲイトウ☆	*				b		○	*					
キンポウゲ科	ケキツネノボタン	○	○	*										
	セリバヒエンソウ☆	○	○	*										
	タガラシ	○												
	センニンソウ				○	○	○	○	*	*	*		*	
	ヒメウス	○												
オトギリソウ科	コゴメバオトギリ☆		○	○	○	○	*							
ケシ科	ナガミヒナゲシ☆	○	○	○										
アブラナ科	ミチタネツケバナ☆	○										○	○	
	カキネガラシ☆	○	○	○										
	ナズナ	○											○	
	セイヨウアブラナ☆	○	○										b	
	セイヨウカラシナ☆	○	○											
	オランダガラシ☆	○		○										
	スカシタゴボウ													
	マメゲンバイナズナ☆		○	○	○	*	*		○					
	ハタザオ													都・準絶滅危惧
	イヌガラシ	○			○									
	カキナ													
	タネツケバナ	○										○	○	○
	ハナダイコン☆													
ショカツサイ☆	○													
スズカケノキ科	アメリカスズカケノキ☆													
ベンケイソウ科	ツルマンネングサ☆		○											
	コモチマンネングサ			○										
	メキシコマンネングサ☆													
ユキノシタ科	タコノアシ													都・準絶滅危惧
	ウツギ													
バラ科	ヘビイチゴ		*											
	ノイバラ	*	○	*		*	*		*	*	*			
	ナワシロイチゴ		*											
	テリハノイバラ		○	○	○	○	*	*	○	*	*			
	カワラサイコ			○	○	○	○							都・絶滅危惧Ⅱ類
	ワレモコウ						○	○	*	*				



科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
バラ科	タチバナモドキ☆		b	○	*	*	*	*	*	*	*			
	ユキヤナギ													
	キンミズヒキ													
	ヤマザクラ													
	オオシマザクラ	○	*	*										
マメ科	カラスノエンドウ	○	○	*										
	スズメノエンドウ	○	○											
	シロツメクサ☆	○	○	○	○	○	○	○						
	コメツブツメクサ☆	○	○	○										
	ムラサキツメクサ☆		○	○	○	○	○	○	○	○				
	コマツナギ			○	○	○	○							
	クララ		b	○	*	*	*							
	クズ						○	*	*	*	*			
	メドハギ						○	*	*	*	*	*	*	
	アレチヌスビトハギ☆						○							
	ヤハズソウ						○	*	*					
	クスダマツメクサ☆		○	○	○									
	ハリエンジュ☆		○	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	カスマグサ			*										
	ナヨクサフジ☆		○	○										
	レンリソウ		○	○	*									都・絶滅危惧IB類
	ツルマメ							○	*	*	*			
	ヤブマメ								*	*	*		*	
	マルバヤハズソウ													
カタバミ科	カタバミ						○		b					
	オッタチカタバミ☆	○	○	○	○	○	○	○	○	*				
	ムラサキカタバミ☆													
フウロソウ科	アメリカフウロ☆		○	*										
トウダイグサ科	オオニシキソウ☆						○	○						
	エノキグサ						○	*	*					
	アカメガシワ			○	○									
	コニシキソウ☆							*						
ニガキ科	ニワウルシ☆		b	b	*	*	*	*						
センダン科	センダン		○	*	*	*	*	*	*	*	*			
ウルシ科	ヌルデ				b	b	○	*	*	*	*			
ニシキキ科	マユミ													
ブドウ科	ヤブガラシ			○	○	○	○	○						
スミレ科	タチツボスミレ													
ウリ科	アレチウリ☆						○	○			*			
アオイ科	ゼニアオイ☆		○											
アカバナ科	ユウゲシヨウ☆	○	○	○	○	○	○	○	○					
	コマツヨイグサ☆	○	○	○	○	○	○	○	*	○				
	オオマツヨイグサ☆													
	メマツヨイグサ☆	*		○	○	○	○	*	○	*	*	*	*	
セリ科	ヤブヅラミ			○	○									
	オヤブヅラミ													
	ハナウド		○											
モクセイ科	イボタノキ	*												
	トウネズミモチ☆					*			*	*				
ガガイモ科	ガガイモ													
アカネ科	ヤエムグラ	○	*	○										
	ヘクソカズラ				○	○	○	*	*	*	*	*	*	
	オオフタバムグラ													
	ハナヤエムグラ☆													
	メリケンムグラ☆				○									
	ヒメヨツバムグラ☆			○										
ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ☆				○	○								
	コヒルガオ													
	マルバアメリカアサガオ☆													
	ヒルガオ			○		○								
ムラサキ科	キュウリグサ	○												
クマツヅラ科	アレチハナガサ☆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	*	*	
	ハクマツヅラ☆													
	ヤナギハナガサ☆			○	○									
	ダキバアレチハナガサ☆													
	クマツヅラ☆					○								
シソ科	イヌコウジュ													
	ヤマタツナミソウ													
	カキドオシ	○												
	ヒメオドリコソウ☆	○											○	
	ホトケノザ	○								○		○	○	
	ミゾコウジュ		○	○	○									国・準絶滅危惧
	ニガクサ				b	○	*							
	ヒメジソ								*					
メハジキ					○									
ナス科	アメリカイヌホオズキ☆					○		○						
	イヌホオズキ													
	シヨクヨウホオズキ☆													

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ナス科	クコ				○	○	○	○	*	*	*	*		
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ☆	○	○	○								○	○	
	タチイヌノフグリ☆	○	*											
	オオカワヂシャ☆	○	○	○						○			○	
	カワヂシャ		○											
	ピロードモウズイカ☆				○		b			*				
	トキワハゼ													
	ムシクサ													
	マツバウンラン													
キツネノマゴ科	キツネノマゴ						○	○	○					
ハマウツボ科	ヤセウツボ☆			*	*									
オオバコ科	ヘラオオバコ☆	○	○	○	○	○								
	オオバコ								*					
	ツボミオオバコ☆													
オミナエシ科	ノヂシャ☆	○	○											
キキョウ科	ヒナギキョウソウ☆													
	キキョウソウ☆		○											
	ヒナギキョウ☆		○											
キク科	ハルジオン☆	○	○											
	オニノゲシ	○	○			b								
	ヤブタビラコ		○											
	セイヨウタンポポ☆	○	○							*				
	ノゲシ	○	○	○	○	○		○	○					
	オニタビラコ			○										
	コセンダングサ☆	*	○	○		○	○	○	○	○	*	*	*	
	キツネアザミ		○											
	コウゾリナ	○	○	○	*									
	ウラジロチチコグサ☆													
	ハハコグサ		○											
	ニガナ													
	ヒメジョオン☆			○	○	○	○	○	○	○				
	ハルシャギク☆			○	○	○								
	オオキンケイギク☆		○	○										
	オオアレチノギク☆						○	○	○	*	*			
	ヒメムカシヨモギ☆						○	○	○	○	○			
	イヌクイモ☆						○	○	*	*	*	*	*	*
	アキノノゲシ							b	○		*			
	ヘラバヒメジョオン☆													
	ホウキギク☆											*		
	ヒロハホウキギク☆							○	○	○	○			
	オオブタクサ☆						○	○	*	*	*	*		*
	セイタカアワダチソウ☆							b	○	○	○	*	*	*
	アイノコセンダングサ☆					○	○	○	○	○	○			
	ヨモギ	*						○	○	○	*	*	*	
	ノコンギク								○	○				
	ハキダメギク☆													
	アイノコタンポポ☆													
	カントウタンポポ	○												
	エゾタンポポ	○												
	タチチチコグサ☆													
	ノボロギク☆	○												
	チチコグサモドキ☆													
	アメリカオニアザミ☆													
	オオジシバリ													
	アメリカセンダングサ☆						b	b	○					
	アメリカタカサブロウ☆													
	ブタナ☆							○						
	ヤナギバヒメジョオン☆													
	オオオナモミ☆									*				
	カミツレ☆													
	アイノコセイヨウタンポポ☆		○						○					
	オトコヨモギ									*				
	オニアザミ☆										○			
	カワラノギク									○	○			
	トチカガミ科	オオカナダモ☆												
ユリ科	ノビル	*	○	○										
	ノカンゾウ				○									
	ヤマラッキョウ								○					
	ニラ					○	○		*					
	ヤブカンゾウ				○									
	ツルボ					○	○		*					
	タカサゴユリ☆													
	ヤブラン					○								
ヒガンバナ科	ヒガンバナ						○							
アヤメ科	ニワゼキショウ☆		○											
	キシヨウブ☆		○											
イグサ科	スズメノヤリ	○	○											
	クサイ			○										
	コゴメイ☆	*	○	○	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
ツククサ科	ツククサ					○	○	○	○					
イネ科	オオスズメノカタビラ☆		○	*										

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
イネ科	アシボソ														
	カラスノチャヒキ☆														
	スズメノチャヒキ☆		*	*											
	カラスムギ☆		○	*	*										
	イヌムギ☆		*				*								
	ハルガヤ☆														
	オニウシノケグサ☆	○	○	*		*									
	スズメノカタビラ	○	○												
	クサヨシ			○	*										
	ネズミホソムギ☆														
	シナダレスズメガヤ☆	*	○	○	○	○	○	○	○	○	*	*	*	*	
	ムクゲチャヒキ☆		○	*	*										
	アオカモジグサ		*	○	*	*									
	ネズミムギ☆		○												
	シバ				○	○	○	○	*						
	コバンソウ☆														
	カモジグサ		○	○	*	○									
	セイバンモロコシ☆		○	○	○	○	○	○	*	○		*			
	チガヤ									*	*				
	シマスズメノヒエ☆					○	○	○	○		*				
	ヤマアワ														
	ノギナシセイバンモロコシ☆				b	○	○	○	○	*	*				
	アキノエノコログサ						*	*	*				*	*	
	カタバエノコロ						*	*	*	*					
	キシユウスズメノヒエ☆						○		*						
	オヒシバ						○	*	*	*	*				
	メヒシバ						○	○	*	*					
	イヌビエ														
	エノコログサ						*	*	*	*					
	ツルヨシ						b	○	○	*	*	*	*	*	
	トダシバ							○	○	*	*	*	*	*	
	キンエノコロ							○	*	*	*				
	カゼクサ							○	*	*					
	ムラサキネズミノオ							○	*	*					
	アキメヒシバ								○						
	チカラシバ							○	*	*	*				
	メリケンカルカヤ☆														
	オガルカヤ							○	○	*		*			
	ススキ							○	○	*		*			
	コメヒシバ														
	ヨシ														
	オギ						b	b	○	*	*	*	*	*	
	カモガヤ				*										
	アンデスカゼクサ☆														
	ミゾイチゴツナギ														
	ウシノシツパイ					b									
	ジュズダマ														
	コスズメガヤ☆						*	*							
	ヒメイヌビエ														
	オオエノコロ						○								
ネズミノオ							○	*	*						
イチゴツナギ															
ヒゲナガスズメノチャヒキ☆															
ヒエガエリ															
メガルカヤ	*	*					○	○	*	*	*				
ヤクナガイヌムギ☆						*									
フシゲチガヤ		○	○	*				*							
ナギナタガヤ☆			*	*											
スズメノヒエ															
タイヌビエ															
オオクサキビ☆								*							
ホソムギ☆					○	○									
ケイヌビエ								*							
チヨウセンカリヤス								*							
キツネガヤ															
スズメノヒエ															
ヒメコバンソウ☆		○													
ミノボロ														都・準絶滅危惧	
ギョウギシバ								○							
コツブキンエノコロ															
アシ										*					
イヌアワ						*									
ホソネズミムギ		○	○	○											
カヤツリグサ科	アオスゲ														
	マスクサ	○	*	*											
	ハマスゲ						○								
	ミコシガヤ														
	メリケンガヤツリ☆		○	○	○	○	○	*	*	*	*				

科名	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
カヤツリグサ科	アゼナルコ													
	ヒメクゲ													
	アゼガヤツリ													
	カヤツリグサ						○							
	コゴメガヤツリ							*						
	ジュズスゲ													
	ヤワラスゲ		*											
	ヌマガヤツリ													
	チャガヤツリ													
	アオガヤツリ													
ラン科	ネジバナ			○										
確認した開花植物数		58	69	56	42	51	62	50	28	14	1	4	8	

(注) 本リストは月ごとの調査結果(蕾・花・果実)より開花状況にある植物を主体に、一覧にまとめた。  
蕾・花・果実がある植物のみを調査の対象にしたので、当該河川敷に自生する全植物を把握したわけではない。  
今回確認できた種は次のとおりである。  
花を確認できたもの……………199種  
果実・蕾のみ確認できたもの…………… 39種  
トクサ科(胞子茎を確認できたもの)……………1種  
合計 239種

種名のあとの☆は外来植物を示す。  
科名の配列順序は『新高等植物分類表』(伊藤洋著 平成元年)による。  
表中の○印は開花が確認されたものを示す。(＊印は果実のみ、b印は蕾のみ)  
20年度以降に開花結実をみたが、25年度の調査で確認できなかったものは、種名のみ記載した。  
今回の調査ではタコノアシ、カワヂシャ、ミゾコウジュなどの希少種を確認できなかった。  
備考欄の希少植種の記載は「東京都レッドリスト～2010版」の北多摩地域より引用した。

小川の生き物調査(調査結果)

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
実施年月日		14年度 9月15日	15年度 9月14日	16年度 9月12日	17年度 9月11日	18年度 8月13日	19年度 9月16日	20年度 8月3日	21年度 8月1日	22年度 8月1日	23年度 8月7日	24年度 7月24日	25年度 7月23日
参加者数	大人		9人	30人	26人	10人	16人	12人	36人	23人	5人	6人	7人
	子供		9人	20人	20人	8人	14人	9人	15人	13人	7人		
	合計	10人	18人	50人	46人	18人	30人	21人	51人	36人	12人	6人	7人
調査場所		上流と下流	上流と下流	下流	下流	下流	下流	下流	下流	下流	下流	下流	下流
魚類捕獲数	カワムツ	7								1			
	オイカワ	54	12	315	126	34	164	33	19	21	16	10	5
	アブラハヤ	2	3					45	20	42		2	3
	タモロコ	11	10	37	21	7	86	2	8	7	33	10	7
	モツゴ(クチボソ)	2	3	8	8	17	12	1	11	4	7	15	21
	コイ			2		3	17	9	5	7	17	8	22
	ギンブナ		1	1		1	3	2	6	5	2	16	1
	ドジョウ		2	13	5	2	3	2	1	2	17	14	5
	シマドジョウ								1	1	1	5	
	ナマズ				1		1						
	トウヨシノボリ	13	18	11	10	3		3			1		
	ヌカエビ	1											1
	ムギツク				4	2		5	1			2	
	カマツカ				2	2	14	7					1
	ジュズカケハゼ					1				1			
	メダカ								1	1	2	3	2
ニゴイ							1	1			3		
合計		90	49	387	177	72	300	110	74	92	96	88	68
その他の生き物	アメリカザリガニ	多数	多数	多数	多数	多数	多数	多数	多数	多数	28	多数	多数
	アマガエル									5		多数	1
	オタマジャクシ							4		ダルマガエル6	ダルマガエル2	多数	ダルマガエル1
	タニシ							多数		10(シジミ1)		多数	
	ハイイロゲンゴロウ							1					
	エビの仲間									12	ヌカエビ18	7	ミナミヌマエビ2
	トンボの仲間						8		5	1			
ヒガンバナの開花	咲き始め	咲き始め	満開	咲き始め	—	咲き始め	—	—	—	—	—	—	

第4回から用水の取水方式がポンプ式となり、捕獲した魚が小型になるとともに数も減っている。

第5回は実施時期がお盆と重なったため、参加希望者が減っている。

第6回は用水の水が止まり、ほとんど水たまり状態になったため、魚が深みに集まりやすく捕獲数が増えた。

第6回のトンボの仲間の種類：アキアカネ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ、ハグロトンボ、ナツアカネ  
ミヤマアカネ、マヨタテアカネ、ノシメトンボ

第7回の魚は、時機が早かったためか、ほとんどの魚が小型だった。

第8回のトンボの仲間の種類：ミヤマアカネ、マヨタテアカネ、ハグロトンボ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ

### (オ) 田んぼの学校

実施期間:平成25年5月～26年3月

実施場所:東京農工大学フィールドサイエンスセンター フィールドミュージアム本町農場ほか

参加人数:延べ526名

調査内容:農作業を体験しながら、水田に生息する昆虫等を観察

### (カ) 大気汚染(NO<sub>2</sub>)の調査

調査期間:平成25年4月～平成26年3月

NO<sub>2</sub>調査(カプセル方式):6月、9月、12月、3月

参加人数:延べ56名

調査内容:

カプセル方式で市内29か所の交差点付近の濃度を測定

また、交差点の車の通過台数は、因果関係が確認できず中止した。

『天谷式カプセル』によるNO<sub>2</sub>測定結果経年表(測定者:府中かんきょう市民の会)

カプセル	カプセル設置場所 (ランドマーク)	月	測定結果(ppm)				
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1	西原町1-17 東八・府中所沢線 西原町1丁目交差点	6	0.062	0.062	0.037	0.037	0.026
		9	0.084	0.048	0.033	0.044	0.079
		12	0.029	0.079	0.044	0.057	0.054
		3	0.021	0.034	0.033	0.035	0.035
2	栄町3-8 府中街道 府中刑務所角	6	0.024	0.018	0.022	0.026	0.025
		9	0.061	-	0.014	0.031	0.035
		12	0.010	0.035	-	0.027	0.023
		3	0.022	0.031	0.021	0.017	0.026
3	新町2-77 自治会館小金井街道沿い	6	0.049	-	-	-	-
		9	0.043	-	-	-	-
		12	0.019	-	-	-	-
		3	0.017	-	-	-	-
4	浅間町1-7 生涯学習センター角	6	0.023	-	-	-	-
		9	0.030	-	-	-	-
		12	0.020	-	-	-	-
		3	0.012	-	-	-	-
5	日新町2-23 府中西高校入口交差点	6	-	0.035	-	-	-
		9	0.055	0.026	0.023	-	-
		12	0.032	0.057	0.017	-	-
		3	0.030	0.029	0.042	-	-
6	本宿町2-24 町田街道・20号線 本宿交番前	6	0.054	0.070	0.038	0.046	0.014
		9	0.060	0.031	0.033	0.036	0.065
		12	0.036	0.063	0.040	0.041	0.042
		3	0.033	0.083	0.044	0.019	0.035
7	本町1-13 イトヨーカドー駐車場角	6	0.043	-	-	-	-
		9	0.066	-	-	-	-
		12	0.035	-	-	-	-
		3	0.036	-	-	-	-
8	清水が丘1-4 平和通り・20号線 東府中交番前	6	0.051	0.031	0.031	0.040	0.016
		9	0.079	0.026	0.017	0.014	0.048
		12	0.034	0.036	0.039	0.000	0.031
		3	0.049	0.010	0.039	-	0.026

カプセル	カプセル設置場所 (ランドマーク)	月	測定結果(ppm)				
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
9	白糸台2-1 白糸台郵便局前	6	-	0.031	-	-	-
		9	0.040	0.031	-	-	-
		12	0.026	0.054	0.033	-	-
		3	0.015	0.083	0.021	-	-
10	押立町1-37 しみず下通り 車返団地角	6	0.037	0.031	0.034	0.040	0.034
		9	0.079	0.048	0.024	0.039	0.046
		12	0.035	0.039	0.033	0.032	0.031
		3	0.043	0.013	0.036	0.009	0.018
11	寿町3-1 府中街道・20号線 寿町3丁目交差点	6	0.084	0.044	0.051	0.044	0.049
		9	0.057	0.053	0.026	0.044	0.069
		12	0.049	0.056	0.044	0.036	0.040
		3	-	0.050	0.036	0.023	0.025
12	前原町5-8 東八・小金井街道 前原交番前	6	-	0.040	0.040	0.057	0.038
		9	-	0.035	0.015	0.066	0.040
		12	-	0.036	0.039	0.024	0.031
		3	-	0.013	0.026	0.012	0.026
13	浅間町2-12 新小金井街道・学園通り 浅間町2丁目交差点	6	-	0.040	0.033	0.036	0.026
		9	-	0.053	0.012	0.026	0.040
		12	-	0.023	0.036	0.039	0.026
		3	-	0.083	-	0.022	0.013
14	若松町4-8 新小金井街道 明大グランド西	6	-	0.018	0.022	0.035	0.022
		9	-	0.018	0.010	0.023	0.054
		12	-	0.030	0.043	0.044	0.027
		3	-	0.061	0.027	0.014	-
15	若松町2-12 新小金井街道・20号線 若松町2丁目交差点	6	-	0.035	-	0.026	0.035
		9	-	0.026	0.018	0.074	0.062
		12	-	0.046	0.035	0.053	0.034
		3	-	0.022	0.035	0.039	0.026
16	緑町1-1 小金井街道・20号線 小金井街道入口	6	-	0.031	-	0.013	0.039
		9	-	0.035	0.021	0.010	0.048
		12	-	0.064	0.031	0.049	0.031
		3	-	0.070	0.039	-	0.030
17	幸町1-35 国分寺街道・美術館通り 幸町1丁目交差点	6	-	0.018	0.022	0.013	0.023
		9	-	0.009	-	0.011	0.035
		12	-	0.040	0.024	0.057	0.024
		3	-	0.024	0.016	-	-
18	栄町1-4 東八・国分寺街道	6	-	0.022	0.031	0.021	0.026
		9	-	0.031	0.021	0.019	0.029
		12	-	0.048	0.031	0.040	0.019
		3	-	0.074	0.021	0.008	0.026
19	是政5-19 府中街道・多摩川通り 是政橋	6	-	0.026	-	0.039	0.030
		9	-	0.035	0.021	0.029	0.075
		12	-	0.048	0.026	0.039	0.036
		3	-	0.089	0.018	0.018	-
20	住吉町4-8 鎌倉街道・四谷通り 中河原駅前	6	-	0.053	0.029	0.027	0.037
		9	-	0.040	0.018	0.027	0.049
		12	-	0.065	0.030	0.043	0.034
		3	-	0.025	0.039	0.018	0.026
21	朝日町通り・20号線 榊原記念病院南	6	-	0.031	-	0.071	0.045
		9	-	0.031	-	0.056	0.085

カプセル	カプセル設置場所 (ランドマーク)	月	測定結果(ppm)				
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
21	朝日町通り・20号線 榊原記念病院南	12	-	0.054	0.033	0.051	0.026
		3	-	0.083	0.021	0.039	0.021
22	日野バイパス・ 都道256号 国立インター入口	6	-	0.035	-	0.058	0.042
		9	-	0.026	0.023	0.051	0.056
		12	-	0.057	0.017	0.058	0.093
		3	-	0.029	0.042	0.052	0.024
23	東八 西武多摩川線 旧二枚橋南	6	-	-	-	0.032	0.024
		9	-	-	-	0.030	0.026
		12	-	-	-	0.057	0.026
		3	-	-	-	0.035	0.019
24	人見街道 あんず通り 紅葉が丘郵便局角	6	-	-	-	0.025	0.013
		9	-	-	-	0.082	0.030
		12	-	-	-	0.034	0.029
		3	-	-	-	0.007	0.071
25	中央道側道 白糸台通り 稲城大橋出口	6	-	-	-	0.070	0.044
		9	-	-	-	0.026	0.042
		12	-	-	-	0.040	0.036
		3	-	-	-	0.018	0.027
26	浅間山北側住宅	6	-	-	-	0.009	0.002
		9	-	-	-	0.013	0.013
		12	-	-	-	0.026	0.017
		3	-	-	-	0.030	0.018
27	新設道路 清水下通り	6	-	-	-	0.002	0.044
		9	-	-	-	0.030	0.035
		12	-	-	-	0.030	0.011
		3	-	-	-	0.015	0.039
28	日野バイパス 東八予定線 西原町公園西側	6	-	-	-	0.022	0.004
		9	-	-	-	0.021	0.026
		12	-	-	-	0.040	0.022
		3	-	-	-	0.000	0.024
29	鎌倉街道 本宿トンネル内	6	-	-	-	0.049	0.053
		9	-	-	-	0.073	0.075
		12	-	-	-	0.054	0.054
		3	-	-	-	0.050	0.061
30	鎌倉街道 多摩川通り 関戸橋北詰	6	-	-	-	0.031	0.017
		9	-	-	-	0.026	0.042
		12	-	-	-	0.049	0.044
		3	-	-	-	0.038	0.031
31	都道20号線 四谷保育所角	6	-	-	-	0.040	0.045
		9	-	-	-	0.053	0.074
		12	-	-	-	0.043	0.036
		3	-	-	-	0.038	0.027
32	四谷多摩川通り 四谷橋北詰下	6	-	-	-	0.035	0.036
		9	-	-	-	0.066	0.060
		12	-	-	-	0.044	0.048
		3	-	-	-	0.029	0.036
33	府中街道 旧甲州街道 市役所北お旅所前	6	-	-	-	0.018	0.036
		9	-	-	-	0.032	-
		12	-	-	-	0.033	0.035
		3	-	-	-	0.018	0.033



カプセル	カプセル設置場所 (ランドマーク)	月	測定結果(ppm)				
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
34	鎌倉街道 根岸病院角	6	-	-	-	0.027	0.032
		9	-	-	-	0.030	0.031
		12	-	-	-	0.010	0.030
		3	-	-	-	0.018	0.035

### (3) 環境啓発事業

#### 府中環境まつり

環境月間である6月に、地球温暖化防止、自然保護、ごみ減量やリサイクルなど、環境について楽しみながら学び考えることができるイベントとして「府中環境まつり」を開催しました。

「府中環境まつり」は、効果的かつ総合的に環境の保全に関する理解を深めていただくため、これまで開催していた「グリーンフェスティバル」、「環境フェスタ」、「リサイクルフェスタ」を統合したイベントで、様々な催しを通して、市民に環境について考え、行動していただくよう啓発を行いました。

回	年度	日時	会場	内容	来場者数 参加団体数
2	H25	6月1日(土) 10:00~15:00	府中公園	市民団体、事業者、学校等の出展による環境への取組み紹介、エコカー展示、資源回収、節電対策紹介、ゴーヤの苗の配布等による緑のカーテン普及啓発、ごみ減量PR、起震車体験、木の実細工や鳥の巣箱作り等の自然体験や工作、フリーマーケット(100店)、模擬店、環境啓発標語・ポスターコンクール及びリサイクル子どもみこし等のステージイベント	延べ2万1千人 154団体

#### 環境啓発標語・ポスターコンクール

市民の環境への意識高揚を図るため、市内小中学校児童及び生徒を中心に標語・ポスターコンクールを実施しました。

表彰式

日時:平成25年6月1日(土)午前10時10分から午前11時05分

会場:府中公園(環境まつりステージにおいて)

		標語	ポスター
応募作品数	緑化推進部門	502	116
	まち美化部門	484	87
	地球温暖化防止部門	262	28
入選作品数	緑化推進部門	7	7
	まち美化部門	6	6
	地球温暖化防止部門	6	6

## 各部門最優秀賞

### 緑化推進部門

標語:大道 拓実さん(南町小4年)

「増やそうよ まちにきれいな みどりいろ」

ポスター:黒田 莉央さん(府中第四中2年)

### まち美化部門

標語:松田 鈴さん(府中第五小4年)

「ゴミたちが「おいてかないで」 ないてるよ」

ポスター:柏木 雪羽さん(南町小4年)

### 地球温暖化防止部門

標語:鈴木 心琴さん(府中第五小4年)

「せつでんを こまめにやろう ころろがけ」

ポスター:福島 美絃さん(府中第四中2年)

## 2 環境保全活動センター

### (1) 設置の経緯

府中市環境保全活動センターの設置等については、平成15年に策定された府中市環境基本計画に初めて明記されたほか、平成18年3月には、府中市環境基本計画に基づき、市民や事業者及び行政が相互に意見交換し、環境基本計画の進捗状況や計画を推進するための方策について検討するため、府中市環境推進協議会が設置されました。

同協議会ではこの中で、市民や事業者及び行政が、環境基本計画及び環境行動指針を推進するとともに、各主体が環境基本計画を実践するための枠組みとして、環境活動の場を設置する必要があると、平成20年3月に市長へ「環境保全活動の支援センターのあり方について」提言しております。

また、平成23年3月に策定された府中市地球温暖化対策地域推進計画の中でも、個別施策等各般にわたり活動センターの役割が期待されていました。

この流れを受け、平成23年度予算に活動センター設立に係る経費を計上するとともに、府中駅北第2庁舎7階に約20㎡の事務室を確保した後、同年7月に活動センターの管理運営規則及び運営委員会に関する要綱等を協議するため、「府中市環境保全活動センター開設準備に関する懇談会」が設置されました。

こうした経過の中で、平成23年12月1日に府中市環境保全活動センターを開設し、環境保全に関する学習の機会並びに交流及び活動の場を提供し、市民等が行う環境保全活動の支援を開始しました。

### (2) 平成25年度の動き

センター事業を審議するための組織である、運営委員会を15回開催する中で、センターの設置目的に沿った独自の各種事業を実施しました。

また、センターからの情報発信面では、センターのホームページを活用し、情報発信を行うとともに、会報「かんきょう活動センターだより」を発行し、市民への環境情報の提供とセンターの活動内容の周知に努めました。

この外、センターのサポーター登録団体である企業主催の環境フォーラムの後援等を行いました。

なお、センターの事業活動を担う平成25年度末のサポーター登録数は、個人71人、事業者等が12団体となっております。

### (3) 平成25年度活動実績

事業等	参加者数等	実施月
来館者数	644人	通年
「かんきょう活動センターだより」の発行	4回	4月、7月、10月、1月
府中かんきょう塾	96人	6回
クール・エコの集い	1,000人	7月
親子体験教室「府中産の野菜でエコクッキング」	111人	4回
空間放射線量測定器の貸出し	49件	通年
日立中央研究所庭園・都立殿ヶ谷戸庭園見学会	69人	5月
第五中学校環境学習会講師(3人)派遣	170人	6月
「府中用水の源泉を訪ねて」ツアー	23人	11月

### 3 地球温暖化対策

地球温暖化とは、温室効果ガスの過度な蓄積より、地球の平均気温が長期的に上昇することです。温室効果ガスが全くないと今の地球の気温は維持できませんが、過度に蓄積すると気温が上昇し過ぎ、地球の気候を大きく変化させ、自然生態系などに深刻な問題を与えます。

主な温室効果ガスとしてCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)があります。CO<sub>2</sub>は有機物の分解・燃焼に伴い発生します。産業革命以降、世界的にエネルギー源として有機物である化石燃料の大量燃焼を続け、一方で森林伐採等でCO<sub>2</sub>の吸収量は減少しています。その結果大気中に過度のCO<sub>2</sub>が蓄積しました。また、ほかの温室効果ガスも私たちの生活に関するあらゆる活動に伴い発生しています。

地球の平均気温は、100年間で0.6度上昇しています。日本の平均気温は約1℃、都市化の著しい東京では約3℃も上昇しています。これはヒートアイランド現象であると考えられ、地球温暖化に影響しているといわれています。

国際的動向として、世界の国々における温室効果ガス排出量の法的拘束力がある数値目標を盛り込んだ京都議定書の批准が進んでいます。わが国においても、平成9年の京都会議以降、地球温暖化対策の推進に関する法律の制定や、地球温暖化対策に関する基本方針の決定などがあり、地方公共団体に温室効果ガス排出抑制のための実行計画の策定・公表が義務付けられました。

市では、府中市職員エコ・アクションプランを中心とした環境マネジメントシステムに基づいた環境負荷低減対策をより積極的に推進するため、ISOが定めたISO14001を平成14年に取得しました。平成26年2月には4回目の認証更新をして、環境負荷の低減に努めています。また、市の取組みを年一回「府中市エコレポート」として、公表しています。なお、市民のCO<sub>2</sub>削減活動を支援するため、エコハウス設備設置補助金事業を実施しています。

#### 用語説明

##### ヒートアイランド現象

都市部の気温が郊外部に比べて高くなる現象をいいます。原因として、大量の熱エネルギーを発生させる都市においては、土が露出した地面が少ないため、水の気化による気温の低下が妨げられることがあげられます。また、等温線を描くと都心部を中心とした「熱(=ヒート)」による「島(=アイランド)」のように見えるため、こう呼ばれています。

##### 温室効果ガス

太陽から地球に降り注ぐ(波長の短い)光は素通りさせますが、地球から宇宙に逃げる(波長の長い)赤外線(熱線)は吸収するため、地球の温度を上昇させる働きのあるガスのことをいいます。京都議定書及び地球温暖化対策の推進に関する法律では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六フッ化硫黄の6物質が指定されています。

##### ISO

「国際標準化機構(International Organization for Standardization)」の呼称です。スイスのジュネーブに本部を置く非政府組織(NGO)で、工業製品やサービスなどの国際的な規格の制定や標準化を目的として設立された国際機関です。

##### ISO14001

ISOが定めた環境に配慮するための仕組みを定めたシステムの規格です。PDCAサイクル(計画 実施 点検 見直し 計画のサイクル)を回すことで環境負荷低減行動の進行管理を行い、継続的な改善を進めます。これを認証取得した組織は、その環境に配慮した仕組みが国際規格に適合しているということの証明になります。日本では、JIS Q 14001として発効しています。

## 市職員の取り組み項目

府中市職員エコ・アクションプランは平成13年3月に策定され、市職員はこのプランに基づいて省エネルギー、省資源、ごみ減量などに努めています。平成23年3月には第3次府中市職員エコ・アクションプランを策定し、第2次に比べ日常取組項目を2つ追加、一部取組項目の修正を行い、より一層の環境負荷低減行動を実践していきます。

### 【日常取組項目】

- 1 レジ袋は受け取らない。
- 2 昼休み、就業前後及び残業時の不必要な照明は消灯する。
- 3 OA機器の未使用時は電源を切るか、省エネモードにする。
- 4 毎週水曜日はノーカーデーを実施し、水曜日以外にもできる限り車を使用しない。
- 5 車のアイドリングは止める。
- 6 車を使用する際には、エコドライブを実践する。
- 7 片面使用済紙の再利用や両面コピーを徹底し紙の使用量を削減する。
- 8 必要最低限の枚数しかプリントアウトしない。
- 9 使用済み封筒を再利用する。
- 10 ごみ減量やりサイクルのルールを徹底する。
- 11 階数の差が3階までは上りのエレベータに乗らない。
- 12 下りのエレベータには乗らない。
- 13 トイレの便座シートやウォシュレットの温度設定は色目盛りの下端を最大とし、夏はさらに低くする。
- 14 トイレのウォシュレットの電源は、土日等使用しない時は切る。
- 15 湯水を流しながら使用しない。
- 16 環境にやさしい商品を購入する。
- 17 物品購入は必要最低限にする。
- 18 必要以上の印刷、コピーはしない。
- 19 コピー機の未使用時は電源ボタンを押し省エネモードに設定する。
- 20 退庁時はコピー機の主電源を切る。
- 21 使い捨ての箸、スプーン等は使わない。
- 22 シュレッダーの未使用時は電源を切る。
- 23 会議室の冷暖房温度は、夏28 以上、冬20 以下に設定する。
- 24 クールビズ、ウォームビズなど快適に過ごせる服装を心がける。
- 25 会議室の冷暖房や照明は会議開始の10分前までは使用しない。
- 26 ブラインドやカーテン等の利用により照明・空調の効率化に努める。
- 27 ファイリングシステムの徹底により、必要以上の資料を印刷しない。
- 28 イベントを開催する際の電力は、グリーン電力を使用する。
- 29 各自の取組

## 市民の取り組み[環境家計簿]

日常生活において環境に負荷を与える行動や、環境に良い影響を与える行動を記録するために使用するもので、電気や水道使用量などの項目ごとに必要に応じて点数化し、一定期間の集計を行って、家計簿のように記録できることをめざしたもので、環境とのかかわりを再確認するための試みです。

府中市でも平成15年12月に環境家計簿を作成しました。各家庭でも、電気、ガス、水の使用量をチェックし、排出される二酸化炭素量を把握して、省エネ、省資源を心がけてもらうことが目的です。

### (1) エコハウス設備設置助成事業

地球温暖化防止対策の一環として、個人住宅の環境に配慮した住宅設備設置費用の一部を助成することにより、自然エネルギーの有効活用の促進をするため、平成17年11月9日付で「府中市エコハウス設備設置補助金交付要綱」を施行し、実施しています。(平成25年度実施概要)

対象設備	補助率
太陽光発電システム	1kwあたり2万円で上限10万円
太陽熱高度利用システム	2万円
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器	1万5千円
ガスエンジン給湯器	1万5千円
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム	2万5千円
雨水浸透施設	標準工事費の5割で上限10万円
雨水貯留槽	本体と架台の購入に要する費用の1/4で上限1万円

#### 用語説明

##### 太陽光発電システム

太陽電池を用いて、太陽の光エネルギーを直接電気に変換して発電するシステムです。

##### 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)

都市ガス・LPガス・灯油等から水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させることにより発電するシステムです。同時に発電時に発生する排熱で給湯などに利用することができます。

コージェネレーションとは、1つのエネルギーから、熱や電気など複数のエネルギーを取り出し活用することをいいます。

##### ガスエンジン給湯器(エコウィル)

都市ガスやLPガスを燃料とするガスエンジンで発電し、その際に発生する排熱で給湯などに利用できる給湯器です。

これらは、火力発電所の稼働率を下げ、間接的にCO<sub>2</sub>排出量を抑制する効果があります。また、電気の消費場所の近くで発電することになりますので、送電ロス(=送電線の電気抵抗等で失われる電力)も少なくなります。

##### 太陽熱高度利用システム

集熱器を用いて、太陽の熱を集めて利用するシステムです。

##### 二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)

二酸化炭素を冷媒とし、空気の熱を利用した給湯器です。

これらは、従来の給湯器よりも熱エネルギーを得る際のCO<sub>2</sub>発生を抑制する効果があります。

※ 雨水浸透施設

雨水を地下に浸透させ、地下水のかん養を図る施設です。

※ 雨水貯留槽

雨水を溜め、洗車や庭の水まきに使用できるようにするタンクです。水資源の有効利用が図れます。

年度別交付件数推移

対 象 設 備	17	18	19	20	21	22	23	24	25	計
住宅用太陽光発電システム	9	17	6	17	44	89	173	253	163	771
太陽熱高度利用システム	0	0	3	0	3	5	2	2	3	18
潜熱回収型給湯器	10	126	90	47	17	43				333
二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器	6	56	38	38	22	54	20	12	33	279
ガスエンジン給湯器	0	0	5	8	1	2	0	0	1	17
家庭用燃料電池 コージェネレーションシステム	0	0	0	0	0	1	33	36	107	177
雨水浸透施設	1	3	0	0	0	3	3	0	1	11
雨水貯留槽	2	0	2	0	3	4	15	12	13	51

(2) カーボンオフセット

ア カーボンオフセットとは

地球温暖化は、人間の諸活動の中で排出される二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスによって引き起こされ、人類の生存基盤や自然の生態系にも悪影響を及ぼすに至りました。そこで、温室効果ガスの排出量を減らすための国際的な取組みが行われ、平成9年(1997年)の京都議定書では、我が国に6%の削減の目標が定められました。今、国を挙げての低炭素社会の構築に向けた行動・実践が求められています。

このような中で、注目を集めているのが、「カーボンオフセット」です。カーボンとは「二酸化炭素」、オフセットは「埋め合わせる」という意味を表わします。まず、諸活動の中で排出をしている二酸化炭素などの温室効果ガスの量を認識(見える化)し、削減努力を行うことが必要です。そして、どうしても削減できない部分を、他の場所でのクリーンエネルギーの導入や二酸化炭素を吸収する森林整備など、排出削減、吸収プロジェクトに投資を行い、それによってもたらされる温室効果ガスの排出削減量や二酸化炭素吸収量で、削減しきれなかった部分を埋め合わせる、これがカーボンオフセットです。

イ 姉妹都市佐久穂町とのカーボンオフセット事業の実施状況

平成23年7月26日に姉妹都市である長野県佐久穂町と締結した「府中市と佐久穂町との地球環境保全のための連携に関する協定」、「長野県の森林の里親促進事業森林整備協定」に基づき、平成27年度までの5年間、市の家庭ごみなどの市指定有料袋の焼却をはじめとする市民生活から排出されるCO<sub>2</sub>相当量の一部を、佐久穂町において森林整備を実施することで相殺させるカーボンオフセット事業を行っています。

平成25年度については、新たに佐久穂町の町有林22.98ヘクタールを間伐し、二酸化炭素吸収量は64.3t-CO<sub>2</sub>/年となりました。また、平成23・24年度に間伐した37.11ヘクタールに

ついて、平成25年度も125.1t-CO<sub>2</sub>/年の二酸化炭素吸収量が認められたため、合わせて189.4t-CO<sub>2</sub>/年の二酸化炭素吸収量について、平成26年3月18日に長野県から「森林の里親促進事業」CO<sub>2</sub>吸収量認証書の交付を受けました。

森林整備面積及び二酸化炭素吸収量

	23年度	24年度	25年度
森林整備面積 (ha)	19.86	17.25	22.98
二酸化炭素吸収量対象面積 (ha)	19.86	37.11	60.09
二酸化炭素吸収量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	73.4	129.7	189.4

(3) 森林間伐体験事業

地球温暖化防止対策の一環として、森林を整備することの大切さを知ってもらうため、姉妹都市佐久穂町で、市内の小中学生を対象とした森林間伐体験事業を平成23年度から実施しています。平成25年度は、7月25日から26日までの一泊二日を実施し、小学生53人、中学生3人、保護者3人の合計59人が参加しました。南佐久北部森林組合の方々に教えてもらいながら、森林を守るためには間伐が必要であり、人手がかかることを体験しました。



府中市の温室効果ガス排出量の推移

[単位: 1000t-CO<sub>2</sub>eq.]

ガス種	基準年	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	
二酸化炭素 CO <sub>2</sub>	917	917	960	986	957	1,023	981	981	1,034	1,030	1,044	1,064	1,052	1,179	1,222	1,111	1,103	1,024	1,118	1,084	1,034	1,041	1,093	
メタン CH <sub>4</sub>	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
一酸化二窒素 N <sub>2</sub> O	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	8	8	8	8	7	7	5	5	
ハイドロフルオロカーボン類 HFCs	3						3	5	6	7	7	8	9	10	10	10	10	8	23	27	31	34	38	
パーフルオロカーボン類 PFCs	2						2	2	3	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
六ふっ化硫黄 SF <sub>6</sub>	2						2	2	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	936	928	972	998	968	1,035	1,000	1,002	1,057	1,053	1,065	1,084	1,073	1,200	1,242	1,131	1,123	1,042	1,150	1,120	1,073	1,083	1,139	

※ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、及び六ふっ化硫黄については、基準年度を1995年としているため、1994年以前の値は算定していない。

部門別二酸化炭素排出量の推移

[単位:1000t-CO<sub>2</sub>]

部門	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
農業・水産業	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
建設業	43	41	38	39	48	28	27	37	21	20	18	19	39	23	15	8	10	33	17	19	24	25
製造業	230	234	224	192	217	204	202	219	222	234	218	212	213	211	182	152	142	152	152	137	152	178
産業部門計	274	277	264	233	268	234	231	259	246	257	239	234	255	237	200	163	155	189	172	158	179	206
家庭	212	223	231	231	236	236	226	222	224	235	244	243	276	304	276	299	271	312	301	296	310	334
業務	176	185	201	203	221	215	212	223	226	229	255	249	306	362	331	380	329	373	370	343	334	336
民生部門計	388	407	431	434	457	451	438	446	450	464	499	492	583	665	608	679	600	685	672	640	643	670
自動車	232	251	264	264	272	274	288	301	302	296	300	297	300	293	279	235	230	217	208	208	200	194
鉄道	12	13	14	14	15	14	13	13	12	12	12	12	14	17	14	14	13	16	15	14	14	17
運輸部門計	244	264	278	278	287	288	301	314	314	308	312	309	314	309	294	249	243	233	223	222	214	211
廃棄物部門	12	12	13	12	12	8	11	16	20	15	14	16	27	10	10	12	26	11	17	14	5	6
合計	917	960	986	957	1,023	981	981	1,034	1,030	1,044	1,064	1,052	1,179	1,222	1,111	1,103	1,024	1,118	1,084	1,034	1,041	1,093